

みなさんと**力**あわせ、市民要求の**実現**



井上ひさ子議員



宮川 潤議員



坂本きょう子議員

2014年度末まで「横浜方式」でなく

すべての待機児童解消へ

2014年度末までに待機児童ゼロを宣言した札幌市。発表した待機児童数は398人（2013年4月1日現在）でした。

共産党市議団は、「本当の待機児童は全部で1033人（同4月1日）と指摘し、実際よりも少なくみせかける国規準の計算方法を批判、「国や横浜市は、申し込み用紙（3カ所まで記入できる）に1カ所しか書かないと待機児童とカウ



自民・公明などが反対

公契約条例案、1票差で否決

公契約条例（※）案は、自民党、公明党などが反対し一票差で否決されました。

共産党市議団は、市のモデル事業でも、国が定める労務単価の40%程度の賃金しか支払われていない実態があると指摘。「市の最低制限価格が引き上げられ、落札率

も10%程度上がっているのに、賃金に回っていない。清掃労働者などの賃金は生活保護基準以下であり、改善は待ったなし」と論戦をリードしました。

※公契約条例…市が発注する工事や委託業務での賃金を適正に引き上げることを定める条例

賃金改善を

要請したい」と答弁

「条例がなくてもできることがある」

「条例がなくとも賃上げの要請や賃金調査の義務づけなど、できることがある」――共産党市議団が要求。市は「工事関係約800社、清掃、警備関係約300社に賃金の改善を要請したい」、「賃金実態などの調査を、工事や清掃・警備、さらに対象範囲を拡大し、回答の義務化を検討。改善要請や調査結果の公表など実効性のあるものになりたい」と前向きに答弁しました。

特養ホームからの軽度者はずし

待機者6681人、うち要介護1・2は2892人、「受け皿しめせ」

特養ホームからの軽度者（要介護3未満）はずし。札幌市の特養待機者は6681人です。

共産党市議団は「財源がないか

入院助産制度への助成拡大を

所得が少ない家庭の出産を市が支援する入院助産制度。

入院5日間の、一般的な出産では費用は平均41万5000円ほどですが、助成額は、38万3000円足らずです。3万2千円の不足分は病院が負担しています。実施する病院は市内に3カ所しかなく、低所得者が出産すること

が困難になっています。

新しい生命の誕生を、お金の心配なく喜べるように、助成額を増やすことが必要です。

市は「他の政令都市と合わせて国へ要望する」といっていますが、ただちに増額するか、できなければ市立病院で助産制度を実施すべきです。

高すぎる国保料――

1世帯1万円引き下げは可能

共産党市議団が実施したアンケート（回答3105人）で、医療の一番の要望は国保料の引き下げです。アンケート結果を示し、「市が毎年組んでいる保険料軽減のための予算を、余さず使えば1世帯1万数千円の引き下げができる」とくり返し追及。1世帯1万円の引き下げは可能です。



伊藤りち子議員



小形かおり議員

都知事の資金提供問題の徹底説明を求める意見書に自民、公明、ネットなどが反対

第4回定例会での意見書に対する各党の態度

主な意見書名	結果	共産党	自民	民主	公明	ネット	改革	みんな	無所属
都知事が徳洲会グループから資金提供を受けた問題の徹底説明を求める意見書	否決	○	×	○	×	×	×	×	×
集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書	可決	○	×	○	○	○	○	×	×
秘密保護法案の制定に反対する意見書	否決	○	×	○	×	○	○	×	×
若い世代が安心して就労できる環境等の整備と「ブラック企業」への厳正な対処を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
原発「再稼働」を行わず、再生可能な自然エネルギー政策を促進することを求める意見書	否決	○	×	×	×	○	○	○	×

児童心療センターの機能確保を

児童心療センターは、子どもの精神科で入院治療できる道内唯一の病院ですが、医師の同時退職により、外来新規患者の受け付けは中止されたままです。

「医師の確保とともに入院機能を維持し、子どもの心の診療の拠点病院をめざすべき」と求め、医療・福祉・教育を連携させる人材養成を提起しました。

市は、北海道大学に寄附講座の

発達医療センター移転問題

子どもの訓練機会を奪わないで

「歩けなかった4歳の子が、センターで訓練をうけて何歩か歩けるようになった、本当にうれしい。でも移転すると遠くて通えない」――切実な訴えを紹介し、「発達医療センターの移転で、障がいのあ

る子どもの訓練機会が奪われてはならない」とたどしました。市のアンケートでも、移転すると通えない方が西区、手稲区方面で9人。「訓練機会が失われないよう鋭意検討する」と答えました。

北5西8の緑地保全を

開拓以前の地形を残す唯一の場所

「ハルニレやケヤキなどの大木が多数あり、メム（わき水）は池として保全され、開拓以前の地形を残している唯一の場所」――共産党市議団は、北5条西8丁目地区、伊藤義郎邸の緑地保全を訴えました。



伊藤邸で説明を受ける市議ら

児童クラブ(ミニ)の8割が100人超「小学校区に複数の学童保育を」もとめる

児童クラブ・ミニ児童クラブの8割は100人以上の過大規模。「毎日の生活の場であり解消を急ぐべき」とただし、1つの小学校区に児童クラブや民間学童保育所を1つしか認

めない姿勢を批判し「複数を整備する方針を持つべき」と迫りました。市は「国と同じ規模（40名程度）が適正と考え、1小学校区に1児童クラブの考え方は検討する」と答弁しました。



市民の声で市政を動かす

日本共産党
札幌市議団

市政アンケートの結果

3100人を超える方から返信—切実な声が

「年金下げないで、生きていけません」
「医療は公的なもの、国庫負担増やして」

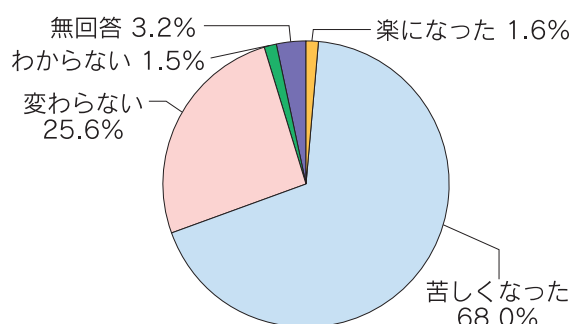
「年金をこれ以上下げないで、生きていけません」「共産党に望みを託すしかない」——日本共産党札幌市議団が取り組んだ「市政アンケート」に続々と回答が寄せられ3100通を超えました。

配布直後から「市民の声を聞くのはとてもいいこと」などの反応がありました。みなさんのご協力に心からお礼申し上げます。

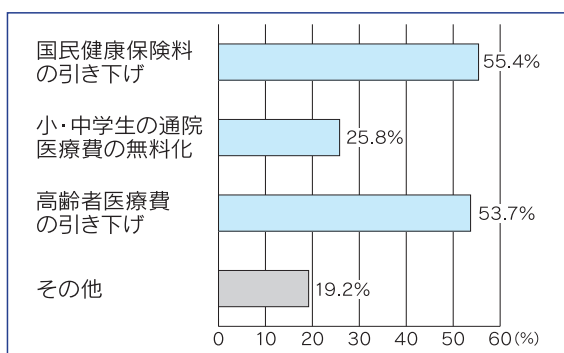
「生活が苦しくなった」
約7割

集計結果の一部（グラフ）ですが、「暮らし向きはどう

あなたの毎日の暮らし向きはここ数年でどう変わりましたか？



医療について、ご意見・ご要望をうかがいます（複数回答可）

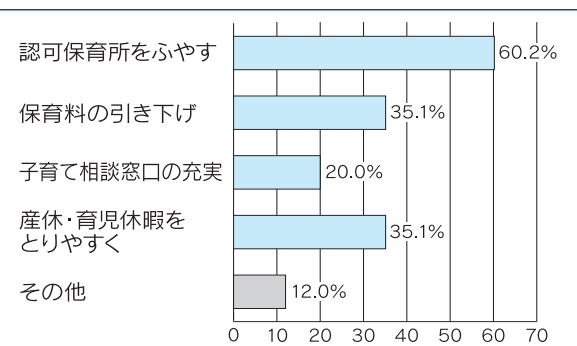


「国保料引き下げ」がトップ

「医療についての要望」では、「国民健康保険料の引き

変わりましたか」の問いに68・0%が「苦しくなった」と答え、「楽になった」はわずか1・6%でした。自由記載欄には、「年金の減少、物価の上昇、介護保険料上昇。年金者は三重の負担増です」「アルバイトで日給時間給に換算すると生活保護以下。賃金アップを要求しようものなら解雇になる」という方もいました。

保育について、ご意見・ご要望をうかがいます（複数回答可）



認可保育所増やして

「加齢に伴い夫婦とも入院。新たな病気が加わり、様々な努力しても医療費を食い止められない現実がある」「医療は公的なもの、国庫負担を減らすのではなく、増やしていいと思うが…」などの意見がありました。

「保育についての要望」では、「認可保育所を増やす」がトップで、「保育料の引き下げ」「産休・育児休暇をとりやすく」が並びました。「3人の子どもがいると、預けるだけで1カ月のパート代以上。働きたいけど、働けない」「高架下に保育所（？）らしきものがある。涙が出る

市政への要望、次々

共産党市議団が市政懇談会

「清掃労働者の賃金は低すぎる。公契約条例の実現を」「国保料の納付相談に行っても滞納分の1割を納めなければ短期証を出さない」「高架下に保育所。『横浜方式』では保育の質は守れない」など、多数の訴えがありました。



市民団体や個人が参加＝昨年9月11日

地域の改善要望も

ほど環境の劣悪なこと」という記載がありました。

また、除排雪や歩道の拡幅など、地域の改善要望も地図で詳しく記載され多数寄せられました。土木センターへの要請など、実現に向けた取り組みが開始されています。

ご相談は日本共産党札幌市議団と各市政事務所に

日本共産党札幌市議団

札幌市中央区北1条西2丁目
札幌市役所内
TEL 211-3221/FAX 218-5124



（中央区）
小形かおり

中央区南5条西10丁目

☎520-2272



（白石区）
伊藤りち子

白石区平和通3丁目
北5-1

☎864-2580



（北区）
坂本きょう子

北区北23条西3丁目
2-55

☎738-9550



（東区）
宮川じゅん

東区東苗穂6条3丁目3-1
喫茶赤れんが2階

☎783-5466



（手稲区）
井上ひさ子

手稲区前田4条11丁目
9-25

☎684-4533